

Lend a Hand
手を貸そう国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2003-12-24 第635回例会 NO. 14-24 2004-1-6 発行

クリスマス例会・懇親会

☆例会 [18:30~19:00]

司会 SAA委員会 根本 泰守

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 菊池 敏◎お客様紹介 会長 大松 誠二
大勢のお客様ようこそいらっしゃいました。私ども多摩GRCのXマス例会のお客を順次紹介させて頂きます。以下のとおり紹介。多摩消防署、警察署関係の紹介は後記のとおり。

- ・特別代表 由井 重光様・照子様
- ・多摩消防署救急隊員 10名
- ・多摩中央警察署管内駐在所ご夫人 8名
ご家族 11名
- ・米山奨学生 金今善さん・金孝真さん
- ・多摩市障害者福祉協会 理事長 田中 三郎様
- ・多摩市手をつなぐ親の会 会長 岩崎 孝枝様
- ・アロマの会 会長 吉田 道子様

◎会務報告 会長 大松 誠二

- ・事務的なことはなし。
- ・2003~2004年度は、発足して半年、何とかここまでやってきました。すべての会員の方に感謝し、来年の半年間皆さんの協力をいただいて、次年度にバトタッチをしていきたいと思っています。どうもありがとうございました。

◎幹事報告 幹事 藤本 吉文
・東京高輪RCよりメールアドレスの変更のお知らせが来ています。
・来年1月6日(火)は、三クラブ合同の寿例会です。間違いのないようにお願いします。

◎次年度会務報告 次年度会長 菊池 敏
・12月20日、第1回理事会。SAA委員長に澄川昇会員を選任。同会員就任承諾。
・次回以降の理事会は第2週の例会後事務局で実施予定。

◎多摩消防署救急隊員のご紹介 会長 大松 誠二
冒頭に、日夜お世話になっていると感謝の言葉を述べ、氏名を呼び上げ紹介した。

◎多摩中央警察署管内駐在所ご家族のご紹介 会長 大松 誠二
上記同様に紹介した。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 杉田 誠

- ・会員総数 44名
- ・出席義務者数 43名
- ・出席者数 37名
- ・欠席者数 6名(事前MU0名)
- ・出席率 86.05%
- ・欠席者: 萩生田政由、平野 行廣、小泉 博、正房 正孝、佐伯 和廣、菅井 信夫
- ・補填MU: なし

12/10最終訂正出席率 72.09%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 高村 弘
由井特別代表よりお祝いを頂きました。

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階
【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30
【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文
【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝
【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澄川昇・高木淳光・由井真司・小田泰機

岡山西南RC 椎原 裕二様

クリスマス例会の登録料が払えず出席できません。1年間大変色々ご迷惑をかけ、お世話になりました。来年も宜しくお願ひ致します。来年は海野さんにゴルフを教えましょう。

大松 誠二 メリークリスマス！！今年はどうな年でしたか？本当にお世話様でした。来年も宜しく。

藤本 吉文 メリークリスマス！今日は大家族できました。

田中 實 本日は家族ぐるみ楽しませて頂きます。サンキュー

赤尾 恭雄 今年も恒例のクリスマス例会を迎え、1年をロータリー家族と共に送りましょう。

赤尾ヨシ子 メリークリスマス！！今年も出席できました。

伊澤ケイ子 お客様ようこそ。楽しい一夜でありますよう。

遠藤 二郎 多摩レスキュー隊の皆様ようこそ。

阿部 華歌 メリークリスマス！大勢のお子様に会えるのが楽しみです。

足立潤三郎 女房、娘、孫の3人でお世話になります。

小林 正 メリークリスマス！仕事で出席できず残念です。ホテルの宿泊券の当たる幸運な方はどなたでしょう・・・

宮本 誠 メリークリスマス！！

由井 眞司 クリスマス例会を祝して

関岡 俊二 クリスマス例会を祝して

海野 栄一 メリークリスマス！！

菊池 敏 お客様ようこそ。

津守 弘範 吉祥院の縁起だるま 来年も良い年でありますようあてて下さい。

北村 幸彦 楽しいクリスマス例会にご協力ありがとうございました。

伊藤 英也 お客様ようこそ。

田島真由美 メリークリスマス！

宮村 宏 娘 美紀が試合に勝っている為出席できません。ゴメンナサイ。

小林 和夫 私にも67回目ヤッテキマシタ。

高村 弘 メリークリスマス！！

◎チャリティ募金贈呈「多摩市手をつなぐ親の会」

会長 大松 誠二

チャリティゴルフコンペ実施に際して集められた募金 22万円を、多摩市障害者福祉協会（田中三郎理事長）及び多摩市手をつなぐ親の会（岩崎会長）に贈呈。



◎アロマの会への贈呈 社会奉仕委員長 伊藤 英也

アロマの会（知的障害者を支援する会、ポプリの栽培及びその製品化、公園の清掃などを市から請け負っている。同会の希望によりその名称を付した案内看板を贈呈。なお、同会より丁寧な礼状が届いており、会長が読み上げた。



◎特別事業の感謝状・記念品贈呈 会長 大松 誠二

障害者のためのテニススクールの実施について尽力のあった宮村テニスセンター、老人ホームの慰問について同行した多摩みゆき幼稚園にそれぞれ感謝状・記念品贈呈。

本日の合計¥49,000(累計¥514,357)

◎点鐘

会長 大松 誠二

★クリスマス懇親会[19:00~21:00]

司会 親睦活動委員会 宮村 宏

◎開会・歓迎の辞 親睦活動委員長 伊澤ケイ子

◎開会挨拶



会長 大松 誠二

12月24日のクリスマスイブに例会を開催でき大変うれしく思います。この半年、皆様の協力で、障害者のためのテニススクール、老人ホームの慰問などの特

別事業をはじめ市民、地域に根ざした奉仕事業をこころがけてまいりました。これは、ロータリーの本来の目的にかなうことだと考えます。消防署や警察の皆様も同じだと思いますが、この町を安全で豊かな生き生きした町にするためにこれからも微力ながら、ロータリーとしても努力するつもりです。今日は、親睦を深めお互いに楽しんで一年の疲れを癒し、来年がさらに良い年になるように祈願しましょう。

◎お客様紹介

会長 大松 誠二

- ・会員夫人 18名
- ・会員ご家族 31名

◎次年度役員・理事紹介

会長エレクト 菊池 敏

- 会長エレクト 北村 幸彦
- 副会長 小林 和夫
- 幹事 田島真由美
- 会計 高木 淳光
- 理事 杉田 誠、澄川 昇、萩生田政由、
楢垣 昭、阿部 華歌



◎乾杯

特別代表 由井 重光様

◎12月誕生祝

親睦活動委員会 内田 啓

萩生田茂夫会員、加藤喜三郎会員



♪ピアノ 影山千寿子さん♪

・クリスマスプレゼント 子供達にサンタより・
サンタクロース 高村 弘



・お楽しみビンゴ大会

司会 北村 幸彦
抽選 阿部 華歌

◎閉会挨拶

会長エレクト 菊池 敏

◎手に手つないで

ソングリーダー 吉沢 洋景

全員斉唱のうちに、全プログラム滞りなく閉宴

(例会担当：小田 泰機)

日頃からいつも用心深い祖父は、先を見る目に欠けている自分の息子と嫁ことを絶えず心配していましたが、一番心配していたのはポールも親に似て浪費家になるのではないかということだった。そこでいろいろな手を考えてポールに貯蓄心を植え付けようとした。その第一歩としてラトランド貯蓄銀行にポールの口座を開いて、貯蓄をするよう彼を励ました。ポールはそれ程祖父の勧めに忠実ではなかったが、兎も角、貯蓄は確実に増えた。すると、祖父は尚更のこと彼にハッパを掛けるのだった。

ポールはあまり貯蓄熱心ではなかったが、不思議なことに、成年に達する前に1,500ドルもの貯金ができていた。しかし、貯金を処分できる時期が来ると直ぐに下ろさなければならなかった。父の一家の借金を返すと残金は殆ど残らなかったが、いろいろな借金があって、中には急を要するものもあった。

そんなことで、百万長者の夢は消えたが、だからといって祖父が百万長者にしてくれるとは、ポールは思わなかった。節約が人間の道とされていたウォリングフォードの村の中でも、特に祖父は儉約家と言われていた。村の浪費家の中には、祖父のことを吝嗇だと思う人もいたかもしれないが、祖父がケチだという話は聞いたことがなかった。

祖父は無駄が嫌いで何でも大事にし、ピンや紐一本でも大切に使い分けていたが、すべて大きな目的があったのことだった。正に典型的なニューイングランド人だった。祖父の希望は、子供や孫たちが独立自尊の精神を持った立派な大人に成長するよう手助けすることだった。そして、その目的を達成するのに一番良い方法は、儉約の励行と良い教育を授けることだと信じていた。祖父が十分な教育を受けていないのに、立派な教育が人生で有利なことをはっきり感付いていたことにポールも感服していた。祖父は、ポールやポールの父の履歴に汚点を付けてはならないと常に心掛けていた。そして、もし自分の財力に余力があって、孫に学校に行く意欲があれば、良い教育を授けようと考えていた。

(コーナー担当：赤尾 恭雄)



私の乏しい知識を動員してシェルドンの説くところを善解すると次のようなことになるのでしょうか。つまり、事業の経営は、事業者個人の利益だけを目的とするものではなく、その事業を行う過程で関わるすべての人々とその利益を適正公平に分かち合う（ひいてはその人々の成功を願う）、利他的（他人に利益を与えるという程の意味。利己的の反対）なものでなければならない（なお、ここでいう利益とは、経済的利益ないし物質的利益を意味し、精神的な意味での利益は含みません。）。その意味では、事業の経営は不法であってはならず、高度な倫理観に支えられたものでなければならない。この事業経営のために行われる具体的な諸々の行為（顧客や従業員に対する心配り、配慮その他）を統括する概念を「奉仕」（Service）と呼ぶ（言い換えれば、「奉仕」とはこのような行為の総体を意味するということになるのでしょうか）。この「奉仕」に基づく経営だけが事業の成功と発展を保証する。個々のロータリアンがこの奉仕を実践し、事業を成功に導けば、他の会員を始めとする多くの経営者がこれを見習い、「奉仕」に基づく高度の倫理観に裏打ちされた正しい経営の方法が広がっていき、ひいては、世の中全体に対しよい影響を及ぼす。言い換えれば、正しい事業経営はそれを通じて社会に奉仕をすることと同じであり、事業を営むことはそれ自体奉仕の機会が与えられるということである。私なりに彼の考えを以上のようにまとめてみましたが、これが果たして彼の言ったことを善解したことになるのかどうか全く自信はありません。彼は、事業は科学であり、事業の成否は自然法則に従うとか、この自然法則を調和させる活動が事業を成功に導くとか、私には理解できないことを多々述べており、彼の言説を善解すること自体甚だ難しい作業であります。ともあれ、彼のこのような考えは「職業奉仕の理念」と言われ、ロータリーを他の組織と区別する独特の理念だとされています。そして、この理念は、ロータリーモットーとして採用された次の言葉に簡潔に要約されているということです。「He profits most who serves best」(日本語訳最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。)

(コーナー担当：小田 泰機)